

慢性肝疾患・肝細胞癌と赤身肉・飽和脂肪摂取との関連

NIH の Freedman らは、約 50 万名の疫学調査を行った結果を「Journal of the National Cancer Institute」誌に報告しました。



赤身肉・飽和脂肪摂取が慢性肝疾患・肝細胞癌のリスク増と関連がある（ハザード比：2.59; 後者 1.74)一方、白身肉（鶏肉、魚など）摂取はリスク低下と関連していました（ハザード比：両者とも 0.52）。